土日環境学習講座

入場無料

釣り人目線で川の管理について考える
～ニュージーランド鱒釣りの旅から～

いまや世界中の鱒釣り師にとって聖地ともいえるニュージーランド。すばらしい景色の中で、美しい鱒たちとの出会いが待っています。しかし、これは単に自然環境に恵まれているからだけではないのです。日本との違いは何なのか？釣り旅を通じて学んだことをお伝えしたいと思います。

なぜニュージーランドは鱒釣りのメッカと成り得たのか？

■日時：　3月3日（土）　13:30～15:00

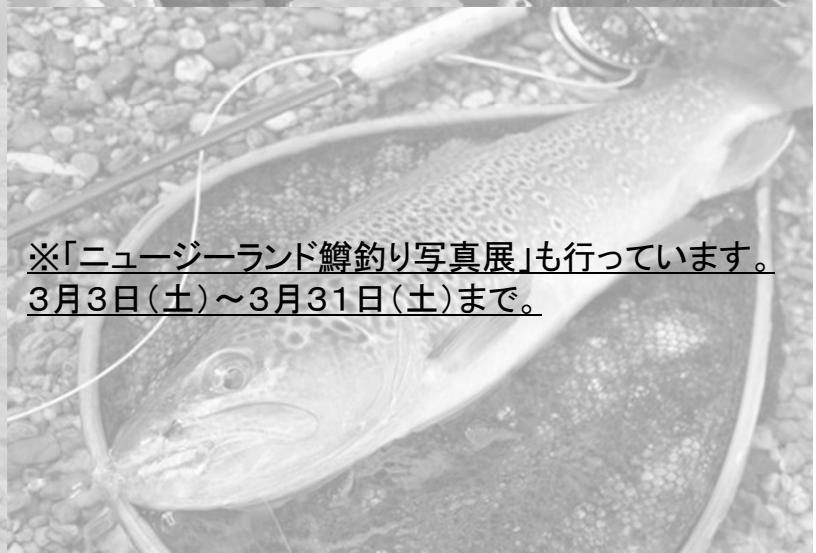
■会場：　アイーナ5階環境学習交流センター

■主催：　環境学習交流センター

■講師：　中村文治（フミハル）

■講師プロフィール

昭和38年福岡県生まれ。父親の影響で幼少の頃から釣りに親しみ、東京都・青森県・愛媛県と転校する中で様々な釣りを覚える。高校生の頃から、小説家の開高健やアウトドア作家の芦澤一洋・田渕義雄らの影響でルアーやフライフィッシングに傾倒、釣りがしたいがために岩手に移り住む。以来、東北・北海道を中心に釣り歩き、海外では、ニュージーランド・タスマニア・イエローストーンを釣る。県北広域振興局（岩手県）勤務、担当は木材・林産物・木質バイオマスの振興。（写真は講師本人ではありません）



※「ニュージーランド鱒釣り写真展」も行っています。
3月3日（土）～3月31日（土）まで。

お問い合せ：　環境学習交流センター

TEL：019-606-1752　FAX：019-606-1753

Mail：eco@aiina.jp